

公明党

堺市議会議員
第一期

かねしろ剛の議会活動報告



市民相談件数1371件!!

ゆんたく通信

総務財政委員
孤独・孤立社会対策
調査特別委員

日々の生活の中で、不便に感じることや困っていることはありませんか？あなたの声が、堺をもっと住みやすい街へと変えていきます。ぜひあなたの思いをお聞かせください！皆様の声をお聞かせください。

📞お気軽にご相談ください。090-9881-0403



教育費の負担軽減について質疑！

今年度、堺市では小学校1・2年生の給食費無償化を実施しました。地域を回中で、保護者の皆さまから「毎月の家計が本当に助かっています」「物価高の中で給食費がかからないのは大きい」といった率直な喜びのお声を数多くお聞きしています。国では、令和8年度から小学校給食費の無償化を本格化する方向で検討が進められており、これが実現すれば堺市の財政負担を年間およそ**20億円程度**、国が支える見込みとなります。一方で、中学生のいるご家庭では、制服や教材、部活動など、小学校以上に教育費の負担が重いのが現状です。私は、国の制度によって生まれる財源を活用し、中学校給食の無償化につなげるべきだと議会で訴えました。**給食費の無償化は、子どもたちの健やかな成長を支え、すべての家庭に等しく届く実感ある子育て支援です。**これからも、現場の声を大切にしながら子育て世代に寄り添う政策を前に進めてまいります！



安心安全の
まちへ！
市民の声が
カタチに

かねしろ剛公式
Instagramより



地域の声を届け、危険交差点に
カーブミラーを設置

美原区太井付近



公式Instagram、X (Twitter)

是非フォローお願い致します！✨



連載第2回 ちよつと気になる土地の話 地籍調査ってナンなん？

なぜ地籍調査は進まない？その背景と課題

前回、堺市の地籍調査の進捗率が全国平均を大きく下回っている現状をお伝えしました。😊

では、なぜ地籍調査は全国的にも、そして堺市でも、思うように進んでこなかったのでしょうか。地籍調査が進まない背景には、時間・労力・費用がかかるという現実があります。土地の境界を一つひとつ確認し、地権者の合意を得ながら進める作業は、非常に丁寧さを要します。特に都市部では、長年にわたり境界が曖昧なまま利用されてきた土地も多く、関係者の調整が難航するケースも少なくありません。

その代表例として挙げられるのが、六本木ヒルズの再開発です。着工にあたって、多くの地権者の土地境界が明確でなく、権利関係の整理に想定以上の時間を要しました。結果として、当初の計画より工期は3年延び、追加の調整や手続きによって多額の費用も発生しました。😱

この事例は、「地籍」が曖昧なままでは、大規模な都市開発すら円滑に進まないことを示しています。裏を返せば、事前に地籍調査が進んでいれば、防げたコストや時間があったとも言えるのです。

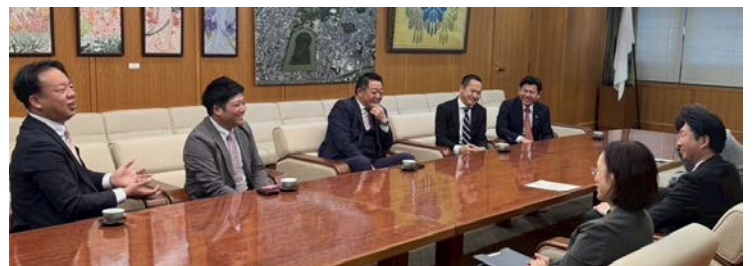
地籍調査は、すぐに目に見える成果が出る事業ではありません。しかし、将来の都市整備、インフラ更新、防災・減災、さらには民間投資を呼び込むための“土台”となる、極めて重要な基盤整備です。短期的な効率や優先順位だけで判断されがちですが、「いざ必要になった時に整っていない」ことの代償は、結果として大きな負担となって市民全体に跳ね返ってきます。地籍調査が進まないという課題は、単なる事務の遅れではなく、まちの将来をどう描くのか、長期的視点が問われている問題だと感じています。

次回は、地籍調査を着実に進めている自治体が、どのような工夫や考え方で取り組んできたのかを見ていきたいと思います。——つづく。

Topic



🇵🇭 フィリピン議連活動 🇵🇭



フィリピン・マンダルヨン市長から堺市へ親書が届けられ、市長および西田議長へ議連役員の皆様とともに手交しました。両市間の協議開始や、将来的な基本合意書（MOU）策定に向けた意見交換を行い、国際交流の具体化に向けた取組を進めています。今後、多分野にわたる実りある連携が期待されます。